

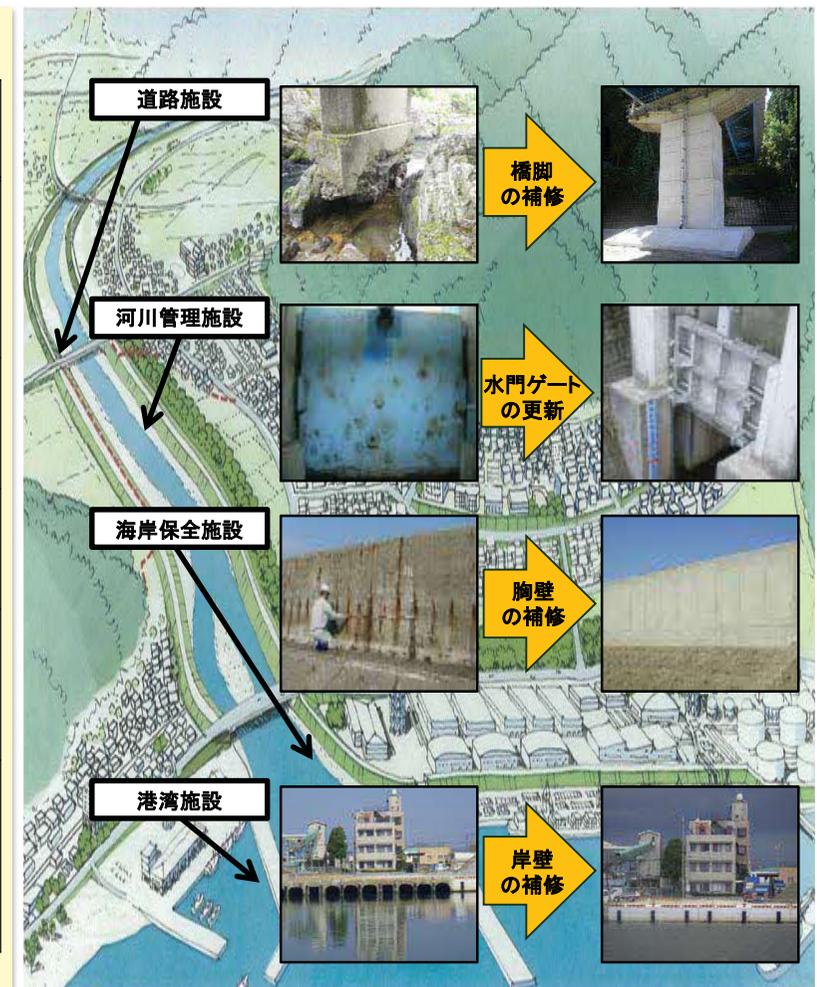
# 個別施設計画に基づくインフラ老朽化対策の推進

- 地方公共団体等が管理するインフラ施設は、個別施設計画に基づく老朽化対策について、個別補助制度、交付金により支援しているところ。
- 個別施設計画における維持管理費用の見通しや費用縮減に係る記載が不十分となっている実態を踏まえ、施設の集約・撤去など、インフラの維持・更新コストの縮減に向けた具体的な方針を個別施設計画に記載することを要件化。

【主な施設への支援に対する対応】

	事業名	R2当初	R3当初	具体的取組み
道路	道路メンテナンス事業費補助	2,223億円	2,223億円 (+0億円)	個別施設計画に、橋梁の集約・撤去など費用の縮減に関する具体的な方針等を記載することを要件化。さらに、短期的な数値目標を定める場合には、優先的に支援を行う。
河川・ダム	大規模更新河川事業	14億円	15億円 (+1億円)	個別施設計画に、費用の縮減や施設の統廃合等に関する方針が記載されていることを補助要件化。
	施設機能向上事業	交付金の内数	交付金の内数	個別施設計画に、ライフサイクルコスト及びその縮減に関する基本的な方針を記載することを要件化。
海岸	海岸堤防等老朽化対策緊急事業	交付金の内数	交付金の内数	個別施設計画を見直す場合の支援要件に、維持管理費用の見通しやコスト削減について、個別施設計画に記載することを要件化。
港湾	港湾改修費補助	12億円	12億円 (+0億円)	個別施設計画に、ライフサイクルコスト及びその縮減に関する基本的な方針を記載することを要件化。
	港湾改修事業	交付金の内数	交付金の内数	

※ 要件化の一部に経過措置を規定



# 新技術等を活用した効果的なインフラ老朽化対策の推進

- 国直轄事業では、新技術等の活用によりコスト削減や省力化の取組が進められ、効果を挙げている事例もあるが、地方公共団体においては、その活用が低調。
- 中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの削減等のため、コスト削減効果の高い新技術等の採用を予定している事業の優先採択や交付金の重点配分対象とする仕組みを導入。

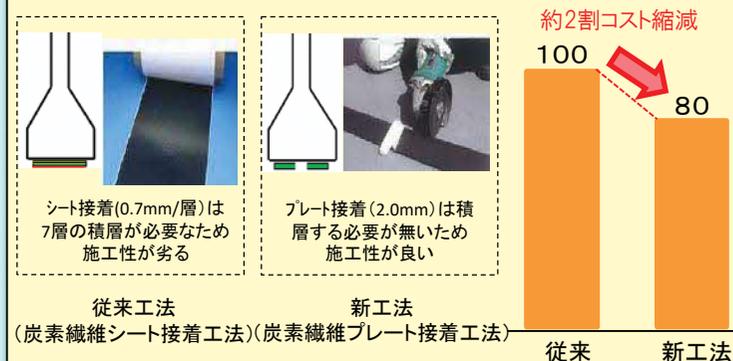
## 【主な施設における新技術等の導入への支援について】

	事業名	R2当初	R3当初	具体的取組み
道路	道路メンテナンス事業費補助	2,223億円	2,223億円 (+0億円)	個別事業において、コスト削減効果や省力化が見込まれる新技術等の活用を検討することを要件化。 コスト削減、省力化を試算し、新技術等を活用する場合には、優先的に支援する。
河川・ダム	大規模更新河川事業	14億円	15億円 (+1億円)	新技術等の活用による省力化が確認できることを補助要件化。(令和2年度から)
	施設機能向上事業	交付金の内数	交付金の内数	コスト削減効果などが見込まれる新技術等の導入検討を要件化するとともに、新技術等を活用した老朽化対策を重点配分の対象とする。
海岸	海岸堤防等老朽化対策緊急事業	交付金の内数	交付金の内数	老朽化対策を支援する場合に、新技術等の導入検討を要件化。 個別施設計画に、新技術等を活用した施設の点検手法等を新たに盛り込む場合には、その計画変更に係る費用を新たに支援するとともに、新技術等を活用した老朽化対策を重点配分の対象とする。
港湾	港湾改修費補助	12億円	12億円 (+0億円)	老朽化対策を実施する場合に、コスト削減効果などが見込まれる新技術等の導入検討を要件化。 新技術等を活用する場合、優先的に支援する。
	港湾改修事業	交付金の内数	交付金の内数	老朽化対策を実施する場合に、コスト削減効果などが見込まれる新技術等の導入検討を要件化するとともに、新技術等を活用した老朽化対策を重点配分の対象とする。

※ 要件化の一部に経過措置を規定

## 【新技術等の活用事例】

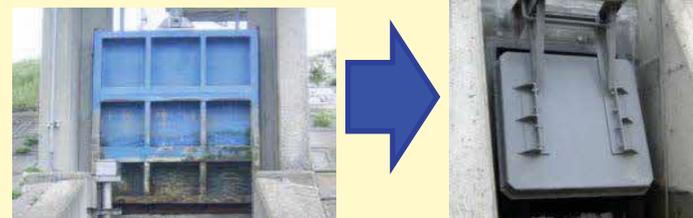
### (道路) 施工性に優れた炭素繊維プレート接着工法



### (河川) 新技術によるトータルコストの削減

- ・ 樋門の無動力化(フラップゲート化)により、操作の省人化を図る。

#### 【樋門の無動力化】



鋼製スライドゲート

ステンレス製フラップゲート